

最近の省エネ動向

流山市のESCO事業について

平成30年10月5日

京和ガス株式会社

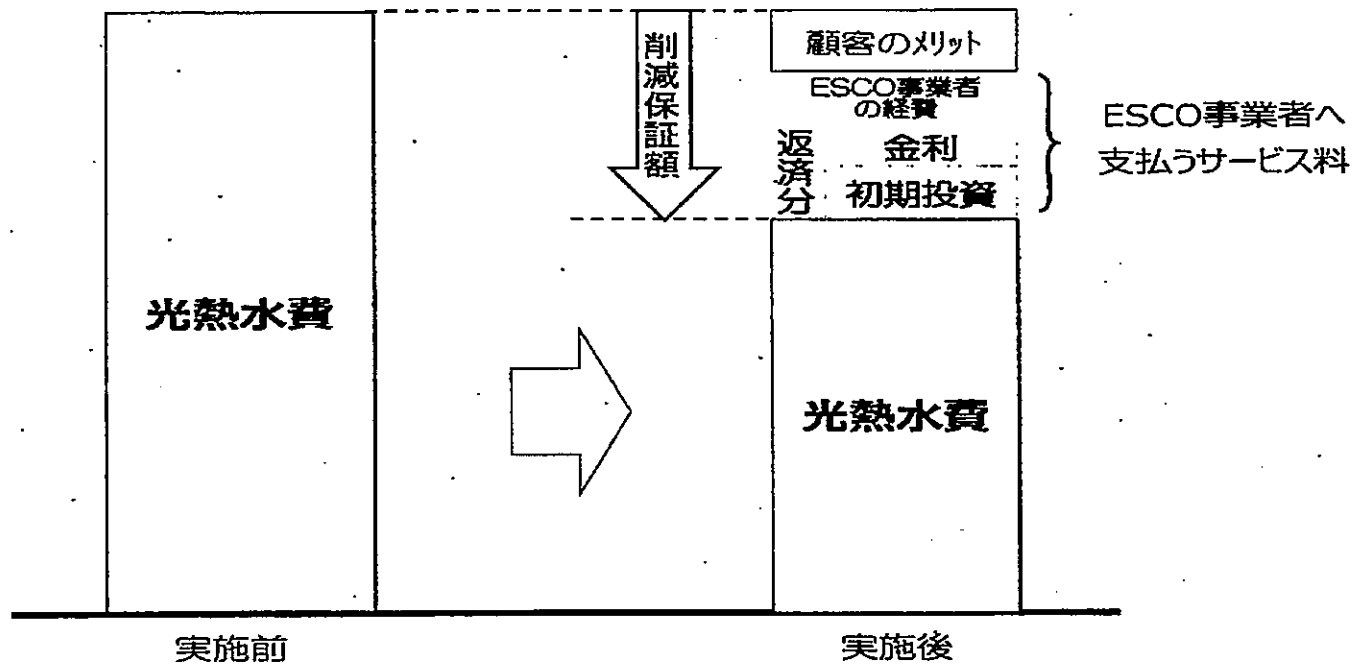
ESCO事業について

- ESCOとは

Energy Service Company の略で

省エネ改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業を言います。

ESCO事業の仕組み



ESCO事業の特徴

- 1) 新たな負担を必要としない省エネ促進策
- 2) ESCO事業者が省エネ効果を保証
- 3) 包括的なサービスを提供
- 4) 省エネ効果の計測・検証

流山市のESCO事業

流山市におけるESCO事業は一般的なESCO事業とは異なり独自の進化を遂げたESCO事業となっております。

- デザインビルド型小規模ESCO
 - 通常のESCOのメリットに加え
 - ・FS調査のコスト削減
 - ・小規模施設でのESCO
 - ・専門知識が不要、期間の短縮
 - ・提案者と協議しながらスキーム構築

生涯学習センターのESCO事業について

本施設は当初、千葉県立「流山青年の家」として、昭和58年より青少年の研修・宿泊施設として運営されていました。

平成18年4月より「流山市生涯学習センター」に衣替えし、集会場・ホール・体育館等市民の生涯学習の施設と市民活動推進センターや青少年指導センターなど行政の事務所としても活用される多機能施設へと生まれ変わりました。

しかし空調、照明設備に関しては大規模な改修は実施していない為、平成25年度ESCO事業にて改修する事となりました。

流山市様における本事業の趣旨

- ◇施設経費の最小化と施設効用の最大化を図るファシリティマネジメント推進策としてESCO事業の導入
- ◇シェアード・セイビングス契約による、民間資金活用
- ◇フィージビリティスタディ前の優先交渉権選定によるデザインビルド型事業構築
- ◇既設冷暖房設備の全面改修及び空調室内環境改善、ベース照明のLED化、高効率化を必須とする、省エネルギー率は10%以上
- ◇ESCO事業に関する指定管理者も含めた協議、協定書の締結を必須とする

提案の基本方針

- 冷暖房設備は、一部を除き冷媒配管への更新とし、将来の漏水リスクを低減
- 空調室内環境改善の為に、センシングフロー室内機、多目的ホールでの改善提案
- 熱源機の分散による省エネルギーの推進と設備費・維持経費の省コストの両立
- 電力デマンドの低減、CO2排出量の削減、節水等環境に配慮した機器の導入
- 運転及び維持管理面で扱いやすく安心できる設備の導入
- デザインビルド期間中に指定管理者様を含めて十分な協議、確実な管理体制の確立
- ESCOサービス期間は13年間⇒設備維持管理の長期安定化、法定耐用年数との合致